



2015年9月17日

博報堂行動デザイン研究所、 東京＋アセアン5都市の生活行動比較調査を実施 Vol.1 「行列にならぶアジア人の意識／行動調査」

“行列嫌い”なのに並んでしまう日本人の「意識と行動のギャップ」

博報堂行動デザイン研究所（所長：國田圭作）は博報堂生活総研アセアン（所長：帆刈吾郎）の協力の元、東京とアセアン5都市の生活行動比較調査を実施いたしました。

本調査は日本（東京）の生活者とアセアン5ヶ国の主要都市在住者の生活行動について分析、第一回レポートは各都市の「行列」に対する意識と行動についてまとめています。日本人は行列が嫌い（行列に抵抗がある／行列に並ばない→共に1位）と回答している反面、行列が起きる典型的なケースである「人気のレストラン」「遊園地のアトラクション」「話題のケーキ、アイス、パンのテイクアウト」の項目において、「気にならず待つことができる時間」がアセアン各国を上回りました。意識としては行列嫌いであるにも関わらず、気になるものにはつい並んでしまう日本人の「意識と行動のギャップ」が明らかになりました。また、日本人の男性と女性の平均待ち時間（※）を比較すると女性が約6分ほど長く、年齢が低い程待ち時間に寛容な傾向が見られました。

【調査結果のポイント】

- 日本人は“行列嫌い”「並ぶことに抵抗感がある（57.2%）」「行列に並ばない（47.4%）」がアセアン5都市を上回る
- 日本人の“待てる時間”は3項目で全て1位、行列嫌いの意識と行動にギャップ
 「人気のレストラン(31.6分)」「遊園地のアトラクション(48.5分)」「話題のケーキ、アイス、パンのテイクアウト(19.7分)」
- 日本人の平均待ち時間（※）は“20代女性”が最長(38.3分)

<調査概要>

調査エリア	東京（日本）、シンガポール、クアラルンプール（マレーシア）、バンコク（タイ）、ジャカルタ（インドネシア）、ホーチミンシティ（ベトナム）
調査方法	インターネット調査
調査時期	2015年7月
調査対象者	一般生活者 20歳～69歳男女（アセアン各国はSECのA層～D層までを対象）
サンプル数	各国500人
割付	各国の人口構成に準じる

（※）平均待ち時間は「人気のレストラン」「遊園地のアトラクション」「話題のケーキ、アイス、パンのテイクアウト」三項目から平均待ち時間を算出

●日本人は“行列嫌い”「並ぶことに抵抗感がある（57.2%）」「行列に並ばない（47.4%）」がアセアン5都市を上回る

Q.あなたは行列に並んで待つことに対してどのように感じますか？

	抵抗感がある	どちらとも言えない	抵抗感がない
日本	57.2	19.8	23.0
インドネシア	39.0	2.2	58.8
ベトナム	31.9	18.7	49.4
シンガポール	20.4	24.1	55.5
タイ	12.4	2.2	85.4
マレーシア	7.0	27.2	65.8

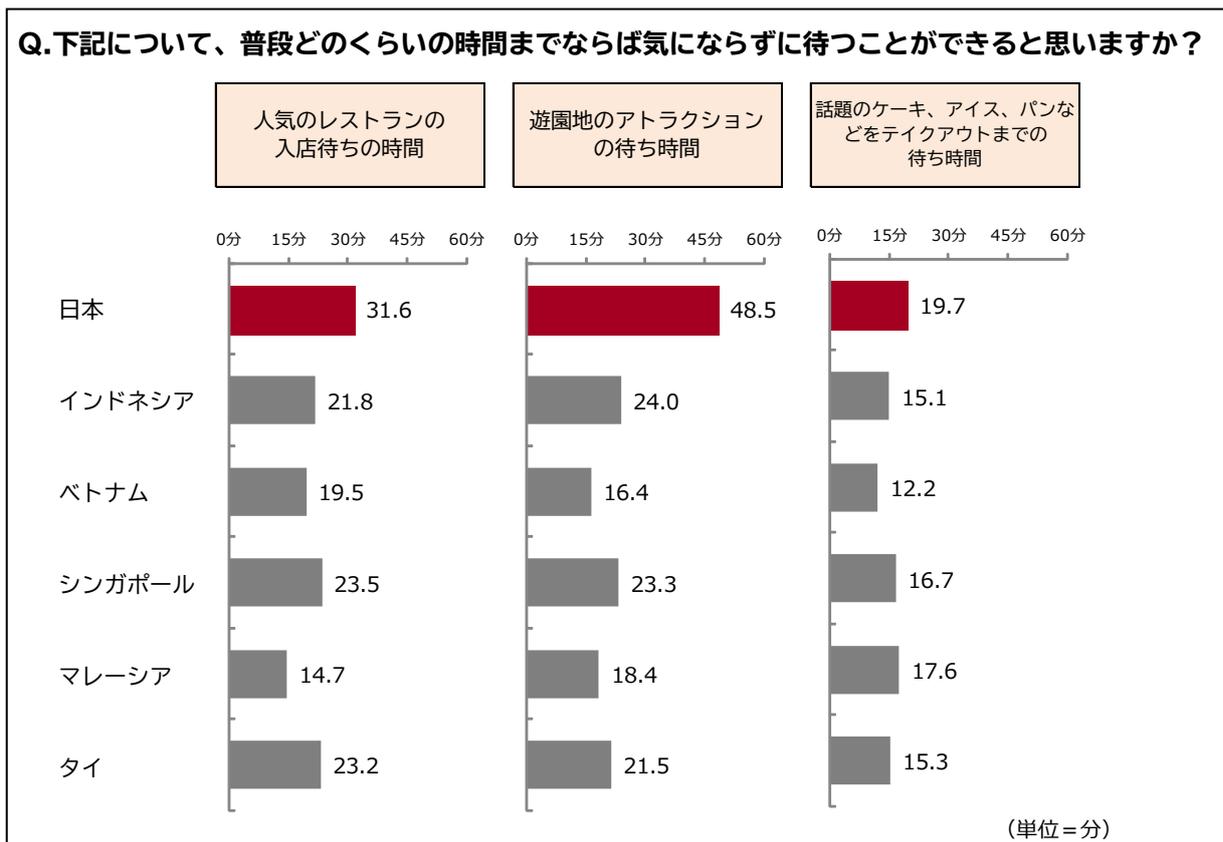
※「抵抗感がある」は「非常に抵抗感がある」と「やや抵抗感がある」の合計
「抵抗感がない」は「まったく抵抗感がない」と「あまり抵抗感がない」の合計

Q.あなたは行列に並ぶほうですか？

	並ばない	どちらとも言えない	並ぶ
日本	47.4	17.4	35.2
インドネシア	4.2	4.4	91.4
ベトナム	27.2	8.1	64.8
シンガポール	7.8	11.2	81.0
タイ	5.8	1.0	93.2
マレーシア	5.6	10.0	84.4

※「並ばない」は「まったく並ばない」と「ほとんど並ばない」の合計
「並ぶ」は「よく並ぶ」と「ときどき並ぶ」の合計

●日本人の“待てる時間”は3項目で全て1位、行列嫌いの意識と行動にギャップ
「人気のレストラン(31.6分)」「遊園地のアトラクション(48.5分)」「話題のケーキ、アイス、パンのテイクアウト(19.7分)」



●日本人の平均待ち時間は“20代女性”が最長(38.3分)

